

## 文教厚生常任委員会

○視 察 日  
○視察地および  
調 査 事 項

令和5年10月30日から11月1日

- ・大阪府門真市  
公民連携子どもの居場所「子どもLOBBY」について
- ・大阪府大東市  
住民主体の高齢者支援「大東市式総合事業」について

当委員会では、大阪府門真市、大阪府大東市を訪問した。

門真市では、貧困対策事業で地域住民が「子どもの未来応援団」として子ども達の見守りを行い、市内の宿題カフェ等を見守り拠点としていた。その中で子どもが毎日通える場所が必要であると感じ、常設の「子どもLOBBY」を設置した。企業等との公民連携で公費支出を抑え、さらにキャリア教育も実施し、子どもの生きる力も育てている。

大東市では、高齢者の運動不足に対処するため、「大東元気でまっせ体操」の拠点や生活サポーターを増やし、住民へ市の現状を隠さず伝え、巻き込んだ結果、7年間で介護給付費30億円の大幅な削減を達成した。

門真市と大東市の成功事例は、本市においても大変参考になるものであり、非常に価値ある視察となった。



行政視察（大東市 議場）

## 産業建設常任委員会

○視 察 日  
○視察地および  
調 査 事 項

令和5年11月13日から11月15日

- ・愛知県豊田市  
Park-PFI事業（鞍ヶ池公園）について
- ・愛知県刈谷市  
刈谷駅北地区整備事業について

行政視察は、愛知県豊田市、愛知県刈谷市へ訪問した。

豊田市のPark-PFI事業は、民間活力導入のため、公園内の利活用においては株式会社スノーピーク地方創生コンサルティングが全体の運営を円滑にするために補助、また、協力企業としてスターバックスコーヒージャパン株式会社などを敷地内へ誘致し、行政で保有する公園に付加価値を創出していた。

刈谷市の刈谷駅北地区整備事業は民間再開発の事業であった。20年近い歳月を費やし、市民や民間企業、行政が手を取り合い完成に至った事業とのことであった。

視察を通じ、協力してくれるパートナーとなる

民間企業への呼び掛けから選定、そして、まちづくりとともに、お互いが成長し発展し合える仕組みや運営が必要だと確信した。



行政視察（豊田市 鞍ヶ池公園）